

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報

JA月形町

2007年4月号



4月のこよみ

(小) 卯月 (うづき)

暖かい陽気に、浮き浮きと気持ちも浮きたつことから
こう呼ばれます

4日【清 明】春の日射しが強く空清く晴れ渡る
という意で、清明と呼ばれる

5日【春の全国交通安全運動】

20日【穀 雨】春の太陽が強さを増すこの頃の雨
は、五穀の成長をうながす慈雨

29日【昭和の日】

今月の行事予定

3日 ・ 第59回

JA月形町通常総会

24日 ・ 第3回 理事会

平成19年度 営農懇談会開催

平成十九年度の営農懇談会が、十四日、十六日の両日、三会場において開催されました。懇談会では、月形町役場より、「農地・水・環境保全向上対策（営農活動支援）」について、空知農業改良普及センターより、「エコファーマーについて」「肉牛飼育について」「岩見沢版営農ナビ・法人ナビの作成について」「大豆の生育状況について」「水稻生育と反省について各担当普及員より説明されました。

農地・水・環境保全向上対策については、営農活動支援に取り組む地域や、エコファーマー認定を受けようとする生産者の関心を集めました。経営をシミュレーションできる「営農ナビ」「法人ナビ」については、パソコンがある方であれば簡単にシミュレーションできるソフトで、興味や関心のある方は、JAにおいて、CDへコピーする事ができます。



札比内コミュニティセンター



南地区集落会館

講習風景



札比内コミュニティセンター



多目的研修センター

JA青年部 スノーメッセージ作成



JA月形町青年部（部長 渡邊 訓広）は三月四日に、北農場の町道沿いにスノーメッセージを作成しました。

作成には、部員十名が参加し、町道沿いの山斜面の畑に融雪剤を利用して、幅100m、高さ50mの規模で今年の管内統一テーマである「生命（いのち）」を題材として「生命（いのち）ある食届けます。」と書き上げました。

この取組は、安全・安心な農畜産物の生産にかける農業者の心意気を白い雪壁に書き、管内各地で消費者へ向けアピールする事を目的とし、空知農協青年部連合会の呼びかけで、管内全ての青年部でメッセージを作成する事となっており、今年で十四年目を迎えています。当日は、テレビ局のヘリによる撮影もあり、作成に参加した部員は、元気にPRしていました。

小麦・大豆栽培講習会 小麦・大豆生産組合設立

三月一日、JA月形町大会議室において、小麦・大豆生産者を集め、講師に空知農業改良普及センター山田地域第三係長、田村普及員を招き栽培講習会を開催しました。

栽培講習会終了後には、小麦・大豆生産組合が設立されました。

この組合は、生産者を構成員とする組織で、生産技術、品質の向上を図りながら農業経営の安定を目指す組織となっております。今後、作況情報の提供や現地講習会・視察等を行う予定となっております。



エコファーマーについて学ぶ



三月二十七日・二十九日の二日間の日程により、空知農業改良普及センター平門普及員を講師に招き、エコファーマー取得に向けての説明会が行われました。

今回の研修会は、各生産組合において、エコファーマー認定の取得を推進しており、園芸作物を対象として説明されました。

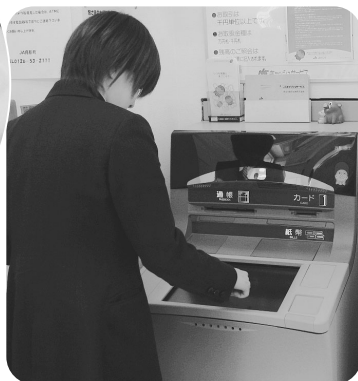
出席された生産者は、申請書の記入方法や導入技術について確認を行っておりました。

フォト ニュース



月形産大豆100%の納豆が「雪の聖母園」で作られています

貯金店舗のATMが
新しくなりました



JA青年部
肥料農薬講習会の様子



JA女性部主催
家庭菜園栽培講習会の様子

平成19年度 新規採用職員紹介

4月1日より、当J Aに新規
採用職員が入組しました。
どうぞよろしくお願いいたします。



山田 優 弥

(昭和61年11月15日生)

出身地 岩見沢市
特 技 サッカー・球技
趣 味 サッカー・運動
筋トレ

★ 抱 負

職員や組合員さんに名前を覚えてもらい、早く仲良くなりたいです。仕事に関しては、やるべき事をやってケジメをつけ、一生懸命頑張ります。



工 藤 美 雪

(昭和63年12月30日生)

出身地 由仁町
特 技 バレーボール
趣 味 映画鑑賞

★ 抱 負

まだまだわからない事ばかりですが、自分の仕事を正確にこなしていける様に頑張りたいと思っています。



吉 谷 祐 香

(昭和63年10月24日生)

出身地 岩見沢市北村
特 技 ソフトボール
趣 味 お菓子作り

★ 抱 負

分からない事ばかりですが、少しでも早く職場に慣れ、みなさんの役に立てよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

退職職員挨拶



新 谷 絵 理

平成14年4月1日入組

この度、3月31日付けで退職させていただく事になりました。在職中は、組合員の皆様をはじめ、役職員の方々には、大変お世話になり感謝しております。5年間と言う短い期間でしたが、本当にありがとうございました。

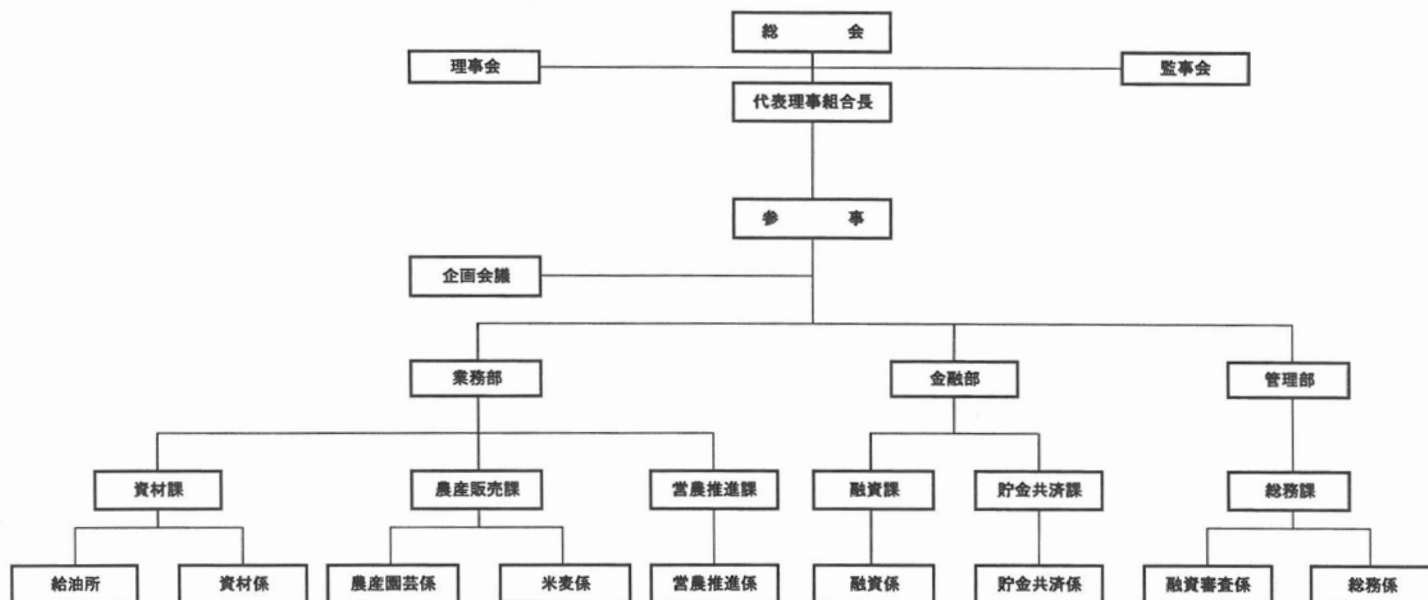


坂 口 晶 子

平成14年4月1日入組

この度、一身上の都合により3月31日をもって退職させていただく事になりました。組合員の皆様をはじめ、役職員の方々には、大変お世話になり感謝しております。本当にありがとうございました。

月形町農協機構図



資材課・ホクレンスタンド
営業時間のお知らせ

部 門	営 業 時 間	
資 材 店 舗	平 日	8 : 00 ~ 17 : 15
	土 曜 日	8 : 00 ~ 12 : 00
ホクレンスタンド	平日・土曜日	7 : 30 ~ 18 : 30
	日曜日・祝日	8 : 00 ~ 18 : 00

※ホクレンスタンド毎月第二・第四日曜日は休業いたします。
※日曜日・祝日の配送業務は午後四時までとなっておりますので、ご了承ください。

水稲

一、苗床の準備
健苗育成のためには、地温を高める対策が重要です。今年は、積雪量が少なくハウスの早期設置が可能です。排水溝の設置などで、ほ場の乾燥をはかり置床の環境を整えましょう。

二、種子の予措

平成十九年に供給される水稲種子に一部、備蓄種子を使用しています。いずれも発芽試験済みで使用に当たっては問題ありません。しかし浸種吸水日数が異なるので、発芽ムラを避けるため、同一品種であっても、種子袋の表示されている年度を確認し、別々の袋で浸種してください。また、十分な育苗箱数(表一)を確保できるように種子を確保します。

選種：自家採種の種籾は必ず塩水選(比重1.10)を実施してください。(表二)
種子消毒：浸漬消毒を行う場合は、薬液と籾の容量比を一對一とし、消毒液温は十〜十二℃で行います。また、消毒液の廃液は適正な処理を行ってください。

浸種：平均水温十〜十二℃とし、浸種日数は七〜八日(過年度産種子は八〜九日)が適しています。種子消毒も含め、容器内の温度差がないように注意します。また、浸種三日後から二〜三日ごとに一度、静かに水の交換を行ない、酸素を供給します。

食酢による褐条病防除：循環式催芽器で催芽時に五十倍の食酢を使用する事により、褐

表1. 育苗様式と10a当たり必要育苗箱数

育苗様式	m ² (坪)株数	10a当必要数
成苗ポット	22~25(73~83)	49~56枚
中苗箱マット	25(83)以上	34~40枚
稚苗箱マット	25(83)以上	20枚程度

表2. 比重選液の作り方(目安)

項目 区分	標準 比重計	水10ℓ当たり(kg)			
		食塩	硫酸	安	
うるち	1.10	1.60	2.10		
もち	1.07	1.00	1.40		

条病に対して高い防除効果が期待できます。しかし使用法を誤ると催芽の遅れなどの障害を招くため次の点に注意してください。
・循環式催芽器を使用する場合のみ適用してください。
・使用する食酢は穀物酢(一般的な食酢で酸度四・二%)を必ず使用してください。
・五十倍より高濃度の食酢では発芽率が低下します(三十三倍液では、催芽時間が極端に延びる)。正確に五十倍液を調製し催芽器に投入するようにします。
・褐条病以外の効果は期待できません。種子消毒は従来通り行ってください。
・食酢液は1回使用したら廃棄してください。
・食酢を使用することにより通常より催芽に時間がかかることがあります。
・使用後の催芽器は必ず洗浄し酸による腐食を防ぎます。

催芽：催芽最適温度は三十〜三十二℃、時間は二十時間前後が目安です。終了数時間前から一時間おきに芽の伸び具合をチェックしましょう。催芽の程度は鳩胸〜二mm程度とします。

三、は種

育苗様式にあった、適正な種量を守ります。特に成苗ポット育苗では二粒以下にならないよう穴ごとに確認し調整します。また、種籾の落下量は籾のぬれ具合や品種によって変化するので、作業中も時々種粒数を確認しましょう。

四、初期育苗管理

出芽を揃えるためには、土壌水分を保ち、は種後からの温度を籾付近で三十〜三十二℃に保つのがポイントです。種籾の七割程度が出芽したら、被覆資材は除去します。出芽揃い後は、根の発育促進のためかん水は控え目に、温度は二十〜二十五℃を目途に管理します。かん水をする場合は晴天日の早朝に一度に十分かん水し、地温の低下を防ぎます。

五、本田整備

今年は融雪が早く、本田整備のチャンスです。前年秋に処理しきれなかった稲わらは搬出し、土壌表面の乾燥を促進しましょう。停滞水は溝切り等で早期に排出しほ場の乾燥に努めます。

畑作

一、排水対策は万全に

今年は積雪が平年より少ない状況ですが、融雪後の停滞水をより早く排水して、畑の乾燥化に努めて下さい。排水不良部分は、溝切りやサブソイラなどを施工し、必ず明きよ、基幹排水路につなぐことが重要です。

二、秋まき小麦

① 茎数の確認

茎数が施肥量を決める目安となりますので、起生期、幼穂形成期に必ず確認しましょう。

時期別茎数の目安

・起生期：六〇〇〜八〇〇本/m²
・幼穂形成期：一、〇〇〇本/m²

② 生育に合わせた分追肥

一回目の窒素分肥は、右の茎数の場合、六kg/十a程度です。二回目の分肥は、幼穂形成期後十〜十四日に四kg/十a程度です。窒素の過剰施用は、倒伏や成熟期の遅延による品質低下の原因となりますので、小麦の生育(主に葉色や茎数)やほ場の地力に合わせて、施用して下さい。

③ 眼紋病の防除

眼紋病は、地際部の葉しよう表面に褐色の小病斑が広がり、病斑の周縁部は褐色で中心部は灰白色になることから「眼」のように見えます。病茎率九十%以上になると病斑が茎の周囲を完全に取り囲むようになり、倒伏しやすくなるため品質の低下を招く

表1. 眼紋病防除例

薬 剤 名	使用倍率	10a当たり散布液量	使用回数	防除適期
ユニックス顆粒水和剤47	500〜700倍	100〜150リットル	2回以内	幼穂形成期頃

恐れがあります。発病を助長する要因として、連作・短期輪作のほ場や密植・茎数過剰があげられます。また、土壌病害のため、過去に発生したほ場は注意が必要です。防除時期が遅れると、防除効果が低下します。防除適期は、四月下旬〜五月上旬の幼穂形成期頃です。また、薬液が地際部に十分かかることがポイントです。(表二)

三、春まき小麦

① 四月中旬頃までに、は種
今年は積雪が少ない状況になりますので、融雪後できる限り早くは種し、生育期間の確保につとめましょう。

② は種量と施肥量の目安

は種量の目安は、十三〜十四kg/十a(三四〇粒/m²)です。生育初期の低温は、リン酸が吸収されにくくなります。初期生育を良好に保つため、リン酸を多めに施用して下さい。(表二)

表2. 施肥量の目安(kg/10a)

窒 素	リン酸	カ リ
6〜9	12	8

品種『春よ恋』

*泥炭地等で地力の高いほ場では、倒伏のおそれがあるので窒素施用量は3〜6kg/10aとする。

野菜

一、施設ハウスの共通事項

融雪が急に進むと融雪水がハウスに浸透します。地温の低下は、生育の遅れや病害の発生につながります。融雪前にハウス周辺の排水対策を十分行ってお

きましよう。

二、たまねぎ

・育苗後半の管理

① ハウス温度は日中十五〜二十℃。かん水は二・五葉期頃中止し、徐々に外気温にならし移植にそなえましよう。
② 低温、曇天、降雨が続くと徒長、病害の恐れがあるのでハウス内は密閉せず、換気を行いましよう。

③ 育苗期間の目安は五十五〜六十日です。極早生品種は、四月二十〜二十五日前後を移

植の目標に外気温にならします。育苗期間が長すぎると老化苗になり活着が悪くなるので注意しましょう。

・ほ場の準備

①施肥窒素量は、十五〜十八kg/10aを標準とします。

②たまねぎの根域は、深さ二十cmを中心に四十cmくらいまで入り横に広がる性質を持っています。耕起深は計画的に深くし、有効土層を確保し根域を広げましょう。

三、メロン

・苗の仕上げ

①育苗中、水分の過不足、温度管理が不十分になると、老化苗になります。定植前の温度管理は日中の気温を二五℃、夜温を十三℃を目標に管理し、十分に根の伸長を促します。草姿は、葉が丸味をおび厚く淡緑色に仕上げましょう。

②子づる二本仕立ての場合、本葉三葉で摘心し腋芽の伸長を促しましょう。

③定植床の準備が遅れ、地温が確保できない時は、育苗中に親づるの摘心は行わず、定植後に行うようにします。

・ベットつくりと地温確保

①砕土は、地表上層部を丁寧に細かく仕上げ活着の促進を図ります。また、着果期まで水分が保持できるように砕土し、マルチングします。

②ベットの地温が、植付深二十cm位まで昼夜十八℃以上確保できるようになったら定植開始です。定植時、育苗ポットの地温より高くすることがポイントです。

・定植

①定植日は、晴天日を選びましょう。曇天が続くようであれば定植を避けます。なお、苗は、老化しないように管理して下さい。

②ポットの上部が見える程度に、置くように植え込みます。植え込み穴に土塊が多いと活着が遅れます。細かい床土で土塊の隙間をふさぐようにして、発根を促し、軽く置

くように植え鉢土を押さえつけないよう注意してください。

・定植後の温度管理

①地温は昼夜十八℃以上、気温は夜間十三℃以上、日中二五℃以下を目安に管理しましょう。

②活着の目安は、定植二〜三日後の早朝に葉水が付着することです。

四、ハウスアスパラガス立茎栽培

・土壌水分

①土壌水分確保のため、地表より三十cm残し排雪し、ビニールを被覆します。ハウス内の雪がなくなるまで日中は肩換気し水分を蒸散させましょう。

・茎葉の処理と春肥

①前年枯れた茎葉をネットごと撤去します。茎葉は、ほ場外に持ち出し、堆肥化など、適正に処理しましょう。

②肥料は土壌水分があるうちに畝間に施用し軽く中耕すると良いでしょう。

・温度管理

①萌芽前は、トンネル被覆し萌芽するまでハウスを密閉して蒸し込み地温を上げます。被覆後約一週間が萌芽の目安になります。

②萌芽後は、日中二十〜二十五℃、夜間最低五℃以上確保し、萌芽茎の伸長をはかります。空気中の水分が過剰にならないよう換気をします。

・害虫防除

越冬したヨトウムシが若茎を食害することがあります。食害痕が見えたら、防除を行います。

五、かぼちゃ

・育苗中に注意したいこと

①は種床、ポット土とも通気性が良く、腐植に富んでいるものを用います。床土が良好だと一斉発芽し、ポット仮植後も根の発達がよく根量が十分確保できます。

②子葉は楕円形で大きなものが、本葉の発達も良好になります。発芽後の仮植適期は、

本葉がやや展開した時期です。

六、トマト

・育苗中に注意したいこと

①トマトの育苗日数は、約六十日で、育苗期間中に第三花房までの花芽が分化しています。育苗中の温度管理によって、花芽分化に影響します。

②育苗期間中は、日中二十五℃、夜間十三℃以上にします。四十℃以上になると花芽形成が不良になります。また、低温になるとチャック果、窓あき果等が多くなります。

③定植時の目安は、第一花房の開花始〜開花期ころが最も良い状態です。

・定植床づくり

①長期どり作型の場合、根張りの良し悪しが収獲量に影響しますので、深耕し有効土層を十分確保してください。

②石灰欠乏になりやすい場合は適正 pH に合わせ堆肥等の有機物と石灰資材を施用します。

花き

一、融雪促進とは場の乾燥促進
気温の上昇に伴い急激に融雪が進むことが予想されます。越冬栽培ほ場や施設周辺の融雪促進に努めます。宿根性切り花類、秋植え球根類などの越冬性花き類の栽培ほ場は、湿害回避のために融雪水を早期に排除するとともに、ほ場の乾燥化を促します。

二、越冬花きの融雪後管理

越冬栽培の花き類は、前年の枯れた茎葉の除去や搬出によりほ場の清掃に努めます。また、春施肥にあたっては、融雪直後の土壌水分のあるうちに早めに行いましょう。

三、切花類の育苗管理

育苗では、それぞれの品目や品種特性に応じた温度管理、水分管理を励行します。春先は気象変動が大きいので、低温時には加温・保温資材等の活用を図りましょう。日中ハウス内高温時は直接冷気を苗に当てないように

換気を励行し、苗の健全な生育を促します。

◆トルコギキョウ

育苗期の二十℃以上の高夜温は、ロゼットの発生の危険性があるので、発芽揃い後の育苗夜温は十五℃程度とします。また、好光性種子で覆土を行わないため床土表面が乾きやすいので、根が十分伸長するまで適水分を保持した管理を行います。

◆デルフィニウム（種子系）

育苗温度を高めると成苗率の低下が見られるので、発芽育苗温度は十五℃前後で管理します。

◆スターチス：スターチス・シヌアータ（種子系）

抽台開花に春化（低温）が必要です。育苗期は、低温要求量を満たすように、夜温は八〜十℃で管理します。

四、早春の施設管理

①施設での促成作型の花き類の温度や水分管理は、それぞれの種類や品種特性に応じてきめ細かに実施し、計画出荷を図ります。

②春先は、寒暖の差が大きいため、低温時には加温を行います。二重被覆資材や保温資材等の活用で施設の気密性を高め、保温効率を上げます。高温時にはハウスの換気を励行し、健全な生育を促します。

③受光環境改善のために、防霧性の内張り資材の利用や被覆資材の洗浄を実施するか、新しい資材に張り替えます。

④育苗では健苗育成に努め、定植前に各種類に適応した苗の馴化を行います。

⑤春出荷の鉢花、花壇苗は出荷前の仕上げ管理を徹底し、低温及び霜害に注意して適期出荷を図ります。

五、春のほ場準備

新しく作付けを予定しているほ場は、排水対策、心土破碎、深耕、土壌改良資材や良質有機物の施用など、土壌診断に基づく改良を十分に図ります。特に、転換畑での栽培は、排水改善と砕土性の向上に努めましょう。

平成19年度

農作業労賃・農業機械利用料

1 作業労賃

(消費税込)

作業名	単位	平成19年度賃金	摘 要
田 植・水田作業	1 日	6,440～7,000円	昼食持参 644円×10時間
畑 作 業・そ の 他	1 日	6,440～7,000円	昼食持参 644円×10時間

2 トラクター作業

代 掻	1 0 a 当り	2,100円	地帯により双方で協議
プ ラ ウ 耕	1 0 a 当り	1,900円	地帯により双方で協議
ロ ー タ リ ー 耕	1 0 a 当り	2,100円	地帯により双方で協議
ロ ー タ リ ー 砕 土	1 0 a 当り	2,100円	地帯により双方で協議
ア ッ パ ー ・ ロ ー タ リ ー	1 0 a 当り	3,000円	地帯により双方で協議
サ ブ ソ イ ラ ー 2 連	1 0 a 当り	2,100円	
ト レ ン チ ャ ー	1 m 当り	80～100円	深さ80～90cm
マ ウ ン ト ス プ レ イ ヤ ー	1 0 a 当り	2,100円	
溝 切 り	1 時間当り	5,200円	
畦 ぬ り	1 時間当り	6,000円	

※溝切りについては、1時間の作業面積を1haを目安として土壌条件により双方別途協議する。

※トレンチャーについては、土壌条件により時間単価で実施する場合は双方協議する。

※クローラータイプは双方で協議。

※本機と作業機の料金を別途設定する必要がある場合は、個々で協議・設定する。

3 田植機械移植料金

田 植 機 械 貸 与	1 0 a 当り	2,300円	側条施肥装置は200円高
田 植 機 械 + 労 賃	1 0 a 当り	3,800円	側条施肥装置は200円高・補助員は委託先で対応。
委 託 苗(マット)	1 箱	550円	人工床土使用は100円高
委 託 苗(ポット)	1 箱	450円	人工床土使用は100円高
余 り 苗	1 箱	200～300円	マット苗(稚苗)

4 小麦播種料金

播 種 機	1 0 a 当り	1,550円	トラクター+播種機+運転手
鎮 圧 ロ ー ラ ー	1 0 a 当り	500円	

※原則として肥料は事前散布とし、種子の補給は施工者側で行う。但し、同時散布の場合は300円増とする。

5 乾燥調整料金

麦 乾 燥	1 俵当り	800～1,000円	水分によって双方協議・運賃別途
米 乾 燥	1 俵当り	800～1,000円	水分によって双方協議・運賃別途
そば 乾 燥	1 俵当り	800～1,000円	水分によって双方協議・運賃別途
粳 摺 調 整	1 俵当り	630円	製品運賃及び包装代別
石 抜 き ・ 再 調 整	1 俵当り	630円	製品運賃及び包装代別
く ず 米 調 整	1 俵当り	630円	製品運賃及び包装代別
大 豆 乾 燥	1 俵当り	800～1,000円	水分によって双方協議・運賃別途

6 コンバイン刈取り料金

(消費税込)

作業名	単位	平成19年度賃金	摘要
麦 刈 取 り	10 a 当り	5,700円	移動費については双方協議
米 刈 取 り	10 a 当り	9,000円	移動費については双方協議
そば 刈 取 り	10 a 当り	7,000円	移動費については双方協議

※米・麦・そば刈取りについて2割以上の倒伏の場合は、集団と利用者双方で協議。

全面及び超湿田の場合は5割増の料金とする。

7 融雪剤散布料金

融 雪 剤 散 布	1 袋 当 り	230円	散布剤により単価協議
-----------	---------	------	------------

8 果菜・花き作業労賃

時	給	644円以上	一般に準ずる
---	---	--------	--------

9 えん麦・牧草

播 種	10 a 当り	1,550円	移動費は別途
刈 取 り(モーター)	10 a 当り	1,500円	
調 整(テッター)	10 a 当り	3,000円	
収 穫(ベラー)	10 a 当り	2,000円	ネット・梱包含む
鎮 圧 ロ ー ラ ー	10 a 当り	500円	

10 豆類作業

播種(プラウナー)	10 a 当り	2,300円	
刈取り(汎用コンバイン)	10 a 当り	5,500円	
脱穀(スレッシャー型)	10 a 当り	3,150円	
脱穀(汎用コンバイン)	10 a 当り	4,200円	
カルチ作業	10 a 当り	1,000円	
鎮 圧 ロ ー ラ ー	10 a 当り	500円	

11 その他

マニアスプレッター	半 日	5,000円	けん引タイプ
	1 日	10,000円	けん引タイプ
マニアスプレッター	半 日	5,000円	自走式タイプ
	1 日	10,000円	自走式タイプ

※堆肥散布機械貸し出しについては、営農推進課まで申込願います。

※堆肥散布機械使用にあつては、原状回復し返却する事とする。



理事会だより

臨時理事会議案

(三月三日開催)

- 報告第一号 決算監査報告について
- 報告第二号 監事監査規則の制定について

- 議案第一号 平成十八年度決算関係書類等(総会提出)の承認について
- 議案第二号 (規約附属書) 監事監査規定の一部変更について

月形町農民連盟定期総会で役員改選が行われ承認されました。平成19年～20年迄の執行体制も決定しましたのでお知らせ致します。

委員長 佐藤 康直 副委員長 石川 純雄
書記長 津坂 佳史 書記次長 田畠 豊
農政 金山 伸吾・直 浩亨・斉藤 武志
税対 常本 勉・河原 徹
代表監事 柳 彰憲
監事 山田 巖・瀬川 政典
今後とも、宜しくお願い申し上げます。

第二回理事会議案

(三月二十三日開催)

- 報告第一号 平成十八年度第四回(決算)定期監査報告について
- 報告第二号 平成十九年度二月末現在組合員の動向について
- 報告第三号 平成十九年度二月末現在財務状況について
- 報告第四号 平成十九年度二月末現在事業計画・実績対比について
- 報告第五号 内部審査結果について
- 報告第六号 不祥事再発防止策取組状況の報告(二月末)について

こんにちは農民連盟 3月

- 3日・北 準一オルグ 委員長・副委員長
- 8日・消費税確定申告手続き 税対
- 12日・常任委員会 常任委員
- 16日・北 準一地区別担当者会議 委員長
- 19日・北 準一を励ます会 常任委員11名
- 21日・北 準一総決起集会 四役・農政1名・監事1名
- 22日・決算監査 監事全員
- ・常任委員会 常任委員全員
- 26日・青色申告勉強会(新規導入者) 税対

- 報告第七号 理事に対する共済担保貸付について
- 報告第八号 職員の人事異動について

- 議案第一号 平成十八年度第四回(決算)定期監査事務処理について
- 議案第二号 規定類管理規定の一部改正について
- 議案第三号 規約の一部変更に伴う訂正について
- 議案第四号 篠津中央土地改良区に対する貸付について

- 議案第五号 月形町穀類乾燥調整施設運営委員の任期満了に伴う選任について

ホクレン ♪スタンド情報♪

ハイオク	135	円/ℓ(税込み)
レギュラー	125	円/ℓ(税込み)
軽油	105	円/ℓ(税込み)
灯油	69	円/ℓ(税込み)

(4月1日現在)

農協文庫 4月号 新刊のお知らせ

買取り・貸出しを行っていますので、詳しくは、営農推進課まで連絡下さい。

新協同活動の時代

河野直 著

農協、生協、NPOなど、多様な協同活動の新しい取り組みを行う現場をレポート。行き過ぎた競争社会となった現在だからこそ、見直したい協同組合運動の意義や協同活動の意味をわかりやすく解説します。

野菜を育てて学ぶ 食育実践BOOK

川上一郎 著

食育をすすめる際に最適な実践マニュアル。野菜づくりを軸とした「五感で覚える食農教育」を提案します。野菜の栽培方法や食べ方のほか、性質や働きなどもあわせて紹介します。

こんな本があった！江戸珍奇本の世界

塩村 耕 著

古典籍の宝庫として知られる愛知県の岩瀬文庫から、56冊もの珍しい書物を紹介します。江戸の子どもの遊び百科、武士の生き方マニュアルなど、知られざる江戸時代が見えてきます。

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。

Q&Aですべて解決！名人の梅干し・梅料理

藤巻あつこ 著

梅干しづくりのQ & A集。梅の漬け方をていねいなプロセス写真で紹介し、その工程ごとの疑問や留意点を解説します。梅酢の利用法や梅調味料を使った料理も紹介します。

いつもの料理をおいしく彩る フレーバーソルト&シュガー

谷島せい子 著

塩や砂糖に、乾燥させた野菜、果物、ハーブなどをすり混ぜた、カラフルで香り豊かなフレーバーソルト&シュガーの作り方と、それらを使った57のメニューを紹介します。

登紀子ばあばの お料理たしなみ帖

鈴木登紀子 著

「ばあば」の愛称で知られる料理研究家の著者が若い女性におくる厳しくもやさしいエッセイ。日々の台所仕事への思いや喜び、料理の心得などを綴った一冊です。

バイオビジネス6 経営哲学が支える企業成長

東京農業大学 編

有機農業、リサイクル関連企業など、さまざまな業界で活躍する東京農業大学出身の経営者の成果をまとめたシリーズ第6弾。経営者たちの経営哲学を事例とともに紹介します。